



しゃっぴーニュース

〈5号〉 2019. 10. 31

台風15号・19号と大雨で、日本列島に大きな被害をもたらしました。各大会、研修会などで義援金を集めさせていただいています。ご協力よろしくお願いたします。

第74回国民体育大会水泳競技の報告 < いきいき茨城ゆめ国体2019 >

翔べ 羽ばたけ そして未来へ

今大会も本県は OWS 女子、森山幸美選手の優勝（3連覇）からの幕開けとなりました。OWS 男子は、松原勇諒選手が 33 位ではありましたが健闘し、今後の活躍に期待したいと思います。

OWS	9月11日
A S	9月12日
競泳	9月14～16日
飛込	9月14～16日



〈上 OWS スタート風景〉

〈右 森山さん優勝!〉



AS は、2 選手ともに中学校 3 年生と非常に若いチームで競技に臨みました。結果は 9 位とわずかに入賞を逃がしたものの、今後の活躍が見込める素晴らしい出来栄であったと思います。



競泳は、石川慎之助選手、木村碧海選手がそれぞれ個人で優勝し、成年男子は、4 × 100 mメドレーリレーで、成年女子は、4 × 100 mフリーリレーで優勝を果たしました。少年男子は、少し課題が残る結果となりましたが、少年女子・成年男女は大いに得点を稼ぎ、チームを盛り上げてくれました。



〈競泳プールの風景〉



〈石川選手優勝!〉



飛込は、近年では最も多い 3 選手が出場しました。結果は、3 選手ともが入賞を果たして得点し、愛知県に大きく貢献することができました。来年は 4 選手が参加することを見込めるので、大いに期待したいと思います。

全体としては、選手・スタッフともに意欲的に、かつ自主的に頑張り、雰囲気良く大会を終えることができました。ただ、天皇杯 200 点獲得を目標としていたので、40 点ほど届かなかったことが悔やまれます。一人一人の選手が意識的にあと 1 点ずつ得点すれば届いていた数字ではあります。また、200 点を目指したときには、水球競技の本大会出場及び活躍が不可欠であります。愛知県として一番の目標である「国民体育大会」の活躍に向け、各競技が自覚と責任を持って競技力向上に努めていかなければと考えています。

〈帯同総務より〉



〈天皇杯 5位〉